

循環器内科

当科は

「循環器救急診療」

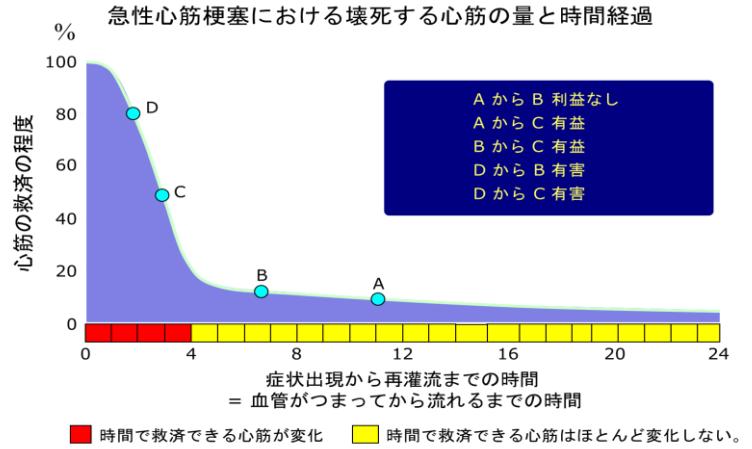
に力を注いでいます

循環器救急を 24時間 即座に受け入れます

胸痛・背部痛・呼吸困難・動悸など先生方が循環器疾患を疑った症例は、
全例 即座に受け入れます。

- 循環器診療では心筋梗塞や大動脈解離、肺血栓塞栓症、うっ血性心不全、急性下肢動脈閉塞など多くの症例で、より早期の治療でより大きな恩恵が得られます。

循環器救急を疑ったら
循環器内科ダイレクトコール 03-3775-3184
お気軽にご連絡下さい。



Gersh BJ et al: JAMA 2005;293:979-986

CoroFlow導入で、微小血管狭心症を含めたINOCAの診断、治療ができるようになりました



CoroFlow:
微小血管狭心症の診断ツール

- INOCA定義 -

- ① 安定した慢性的な（数週間以上の）胸部症状（典型的な狭心痛）や非典型的な症状を有する
- ② 心筋虚血の客観的な検査所見（安静時または負荷時の心電図、心エコー、MRI、核医学検査、心臓カテーテル検査による心筋乳酸産生の亢進などを認める）
- ③ 冠動脈造影や冠動脈CT（CCTA）で**50%以上**の器質的狭窄（閉塞性冠動脈疾患）や血流予備量比（FFR）**0.80以下**などで定義される**flow-limiting**な生理的・機能的虚血を生じる狭窄がないこと

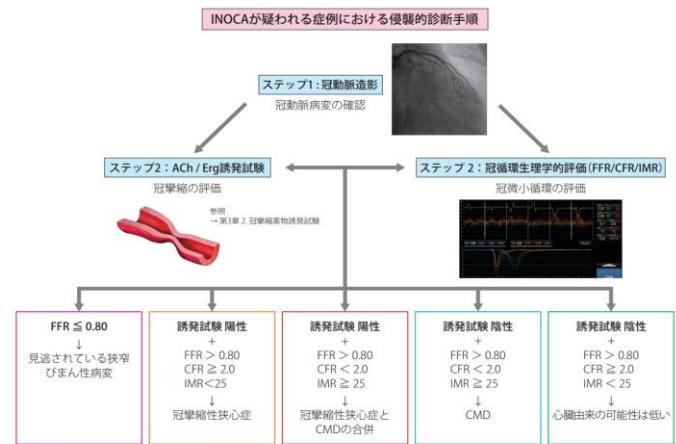


図 16 INOCA の侵襲的・包括的検査

CMD: 冠微小循環障害

CFR: 冠血流予備能: 安静時血流に対して、最大充血時血流がどの程度増えるか、その予備能を表す指標。心筋の酸素需要増加に応じて冠血流が増加する能力を表す。

IMR: 冠微小血管抵抗指数: 冠微小血管の内腔狭窄、リモデリング、分布密度低下、心肥大に伴う血管外からの圧排などで上昇。

心カテ装置が新しくなりました



・バイプレーンハググレードアップ。
2方向同時に撮影できるため、**造影剤使用量を減少**。慢性完全閉塞病変治療時に、ガイドワイヤー先端を2方向で見れるため、**ガイドワイヤー通過の成功率が上昇**。



造影剤自動注入装置を導入。造影剤と生食を同時に注入できるため、造影剤の濃度を自由に設定できる。特に下肢動脈治療で造影剤使用量を大幅に減少。

2024年度 症例数

➤ 急性冠症候群 内訳	124例	➤ 冠動脈カテーテル治療	265例
ST上昇型AMI	48例	➤ 下肢動脈カテーテル治療	54例
非ST上昇型AMI	59例	➤ カテーテルアブレーション	32例
遅れのAMI	14例	➤ 永久ペースメーカー留置術	29例
不安定狭心症	3例	➤ 経皮的人工心臓(ECMO)	0例
➤ 肺血栓塞栓症	12例	➤ 大動脈内バルーンパンピング (IABP)	9例
➤ 急性大動脈解離A型	2例		
B型	6例		
➤ 急性動脈閉塞	3例		